

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

資料 No.	資料名	該当頁
【資料 1】	弘前医療福祉大学大学院（修士課程）設置に関するニーズ調査結果報告書【弘前医療福祉大学保健学部生対象調査】	pp.2-10
【資料 2】	弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科地域健康支援学専攻（修士課程）」（仮称）設置に関するニーズ調査報告書【卒業生・施設従事者対象調査】	pp.11-33
【資料 3】	弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科地域健康試験学専攻（修士課程）」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【施設対象調査】	pp.34-53

弘前医療福祉大学大学院（修士課程）設置に関する
ニーズ調査結果報告書

【弘前医療福祉大学保健学部生対象調査】

令和4年6月

弘前医療福祉大学 大学院開設準備室

1. 調査の目的

2021年4月開設予定の弘前医療福祉大学大学院（修士課程）の新設に関して、本学の学部生のニーズを把握する。

2. 調査概要

対象	弘前医療福祉大学保健学部 看護学科 1年生 55名 2年生 49名 3年生 56名 4年生 54名 医療技術学科作業療法学専攻 1年生 57名 2年生 51名 3年生 43名 4年生 46名 医療技術学科言語聴覚学専攻 1年生 23名 2年生 30名 3年生 24名 4年生 17名	
	回収率（回収数）	92.7%（468名）
	調査対象時期	令和4年5月23日～6月3日
	調査実施機関	弘前医療福祉大学 大学院開設準備室

3. 調査項目

問1	あなたの学年について該当するものを選んでください。
問2	所属している学科・専攻について該当するものを選んでください。
問3	あなたの出身地について該当するものを選んでください。
問4	あなたは卒業後（将来的に）どのような進路を希望しますか。該当するものを選んでください。
問5	あなたは本学に大学院（修士課程）が設置されたら進学を希望しますか。
問6	あなたが大学院に進学したい理由について、当てはまるものを全て選んでください（複数回答）。
問7	あなたが大学院に進学するうえで、重視することについて、当てはまるものを全て選んでください（複数回答）。
問8	あなたが興味を持っている研究分野はありますか。ある場合は自由にご記入ください。

4. 調査結果

問1 あなたの学年について該当するものを選んでください。

問2 所属している学科・専攻について該当するものを選んでください。

学科・専攻	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
看護学科	54	50	50	51	205
作業療法学専攻	57	52	40	46	195
言語聴覚学専攻	18	25	23	4	70
合計	129	127	113	101	470

問3 あなたの出身地について該当するものを選んでください。

地域	度数	割合 (%)
津軽地域	166	35.3
西北五地域	101	21.5
東青地域	90	19.1
上十三地域	15	3.2
三八地域	14	3.0
下北地域	15	3.2
その他	69	14.7
合計	470	100.0

問4 あなたは卒業後（将来的に）どのような進路を希望しますか。該当するものを選んでください。

回答	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
就職	126 (97.7%)	123 (96.9%)	112 (99.1%)	98 (97.0%)	459 (97.7%)
大学院へ進学	3 (2.3%)	2 (1.6%)	0 (0%)	2 (2.0%)	7 (1.5%)
その他	0 (0%)	2 (1.6%)	1 (0.9%)	1 (1.0%)	4 (0.9%)
	129	127	113	101	470

() 内は割合

問5 あなたは本学に大学院（修士課程）が設置されたら進学を希望しますか。

回答	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
進学を希望する	3 (2.3%)	4 (3.1%)	1 (0.9%)	7 (6.9%)	15 (3.2%)
将来的には進学を考 えるかもしれない	28 (21.7%)	21 (16.5%)	19 (16.8%)	29 (28.7%)	97 (20.6%)
分からない	42 (32.6%)	43 (33.9%)	25 (22.1%)	19 (18.8%)	129 (27.4%)
進学を希望しない	56 (43.4%)	58 (45.7%)	67 (59.3%)	46 (45.5%)	227 (48.3%)
その他	0 (0%)	1 (1.8%)	1 (0.9%)	0 (0%)	2 (0.4%)
	129	127	113	101	470

() 内は割合

問6 あなたが大学院に進学したい理由について、当てはまるものを全て選んでください（複数回答）。なお、問6は問5において「進学を希望する」「将来的には進学を考
えるかもしれない」と回答した112名を対象として回答を求めた。

大学院に進学したい理由	人数	割合
臨床で指導的役割を担いたいから	24	21.4%
研究への取組み	24	21.4%
専門性を深めたいから	79	70.5%
更に高度な知識・技術を身に付けたいから	64	57.1%
就職に有利になるから	32	28.6%
研究機関などで研究職に就きたいから	13	11.6%
大学等の教員になりたいから	26	23.2%
学位（修士号）が欲しいから	25	22.3%
周囲から勧められているから	1	0.9%
その他	2	1.8%

問7 あなたが大学院に進学するうえで、重視することについて、当てはまるものを全て選んでください（複数回答）。なお、問7は問5において「進学を希望する」「将来的には進学を考えるかもしれない」と回答した112名を対象として回答を求めた。

大学院に進学するうえで、重視すること	人数	割合
研究・指導の内容	75	67.0%
就職支援	43	38.4%
学費・奨学金制度	90	80.4%
長期履修制度（学費はそのまま履修期間のみを延長する）	27	24.1%
通学時間	19	17.0%
職場からの支援	32	28.6%
施設・環境	45	40.2%
その他	1	0.9%

問8 あなたが興味を持っている研究分野はありますか。ある場合は自由にご記入ください。

回答内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● 代替補完療法 ● 精神看護学領域 ● 精神、神経系、認知症 ● 緩和ケア、意思決定支援 ● 訪問看護に興味があります ● 小児看護学について ● 小児看護学 ● 小児 ● 小児、慢性期、母性、精神 ● 放射線治療 ● 放射線治療 ● 助産師 ● 助産師 	<ul style="list-style-type: none"> ● 失語症 ● 高次脳機能障害 ● 高次脳機能、精神疾患 ● 高次脳機能障害、老年学 ● 高次脳機能障害もしくは認知症に対しての有効的な運動療法的リハビリテーションの研究 ● 精神疾患作業療法や認知症など高齢者に関する作業療法です ● 精神科作業療法 ● 精神的な分野に興味はある ● 病気 ● 脳卒中に関する研究 ● 脊損 ● 今はない

卷末資料 調査票

調査協力依頼文

令和4年5月吉日

弘前医療福祉大学
在学生の皆様

弘前医療福祉大学大学院開設準備室
藤原健一

弘前医療福祉大学大学院（修士課程）設置に関する アンケート調査ご協力のお願い

弘前医療福祉大学では、医療専門職に対する教育のさらなる充実を図ることを目的に、大学院（修士課程）を設置する計画を進めております。大学院（修士課程は2年）では、大学で学んだ知識や理論などをもとに、教員の指導の下で先進的な研究を通して専門性の高い深い知識や技術を身につけ、臨床において高度な専門性を発揮することを目的としております。

つきましては、ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、皆様の大学卒業後の進路についてアンケート調査にご協力いただきますよう何卒お願い申し上げます。

ご協力いただける場合、以下のQRコード（またはURL）からアクセスし、WEB上でご回答ください。また、質問は8問であり、回答は何ら進路を拘束するものではありませんので、ありのままをお答え下さい。

なお、この調査は大学院設置のための基礎資料とするものであり、他に利用することは一切ございません。

記

1. 回答期間：令和4年6月3日（金）まで
2. 問い合わせ先：作業療法学専攻 藤原健一
（1号館4階401研究室）
Mail : fujiwarak@jyoto-gakuen.ac.jp
3. QRコード または URL <https://forms.gle/o2YMwqoxJdVNZZNE8>



以上

<アンケート以外の問い合わせ先>
弘前医療福祉大学大学院開設準備室
室員 尾崎・上村
〒036-8102 青森県弘前市小比内3-18-1
TEL : 0172-27-1001 FAX : 0172-27-1023

調査票 (WEB)

問1 あなたの学年について該当するものを選んでください。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生

問2 所属している学科・専攻について該当するものを選んでください。

1. 看護学科
2. 作業療法学専攻
3. 言語聴覚学専攻

問3 あなたの出身地について該当するものを選んでください。

1. 津軽地域 (弘前市、黒石市、中津軽郡、南津軽群、平川市、西目屋村)
2. 西北五地域 (五所川原市、つがる市、西津軽郡、北津軽郡)
3. 東青地域 (青森市、東津軽郡)
4. 上十三地域 (十和田市、三沢市、上北郡)
5. 三八地域 (八戸市、三戸郡)
6. 下北地域 (むつ市、下北郡)
7. その他

問4 あなたは卒業後 (将来的に) どのような進路を希望しますか。該当するものを選んでください。

1. 就職
2. 大学院進学
3. その他

問5 あなたは本学に大学院 (修士課程) が設置されたら進学を希望しますか。

1. 進学を希望する
2. 将来的には進学を考えるかもしれない
3. 分からない
4. 進学を希望しない
5. その他

< 問5で進学を希望しない・その他を選択した場合は回答終了 >

問6 あなたが大学院に進学したい理由について、当てはまるものを全て選んでください (複数回答)。

1. 臨床で指導的役割を担いたいから
2. 研究への取組み
3. 専門性を深めたいから
4. 更に高度な知識・技術を身に付けたいから

5. 就職に有利になるから
6. 研究機関などで研究職に就きたいから
7. 大学等の教員になりたいから
8. 学位（修士号）が欲しいから
9. 周囲から勧められているから
10. その他

問7 あなたが大学院に進学するうえで、重視することについて、当てはまるものを全て選んでください（複数回答）。

1. 研究・指導の内容
2. 就職支援
3. 学費・奨学金制度
4. 長期履修制度（学費はそのまま履修期間のみを延長する）
5. 通学時間
6. 職場からの支援
7. 施設・環境
8. その他

問8 あなたが興味を持っている研究分野はありますか。ある場合は自由にご記入ください。

【資料2】

弘前医療福祉大学大学院
「地域健康支援学研究科
地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【卒業生・施設従事者対象調査】

令和4年10月
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

卒業生・施設従事者対象 調査概要

1. 調査目的

2024年4月開設予定の弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)新設構想に関して、卒業生・施設従事者からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		卒業生・施設従事者対象調査	
調査対象		卒業生	施設従事者
調査エリア		北海道、青森県、岩手県、秋田県	北海道、青森県、岩手県、秋田県
調査方法		Web調査	郵送調査・Web調査
調査対象数	依頼数	57人	1,554人
	有効回収数	24人 有効回収率:42.1%	204人 有効回収率:13.1%
調査時期		2022年8月16日(火)～2022年9月9日(金)	
調査実施機関		株式会社 進研アド	

卒業生・施設従事者対象調査	
<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・社会人経験年数 ・最終学歴 ・勤務地 ・勤務先 ・職種 ・大学院での学びに対する意向 ・学びたい学問分野 ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度 ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向 ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向 ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期 	



卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

※本調査は、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対する需要を確認するための調査として設計。弘前医療福祉大学の卒業生および、大学院の主な募集エリアである北海道、青森県、岩手県、秋田県に所在の施設に勤める施設従事者に調査を実施し、228人から回答を得た。

出願資格の有無

※弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の出願資格

大学を卒業したまたは卒業見込みの者、あるいは、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の実務経験(通算可)を有する者

- ・回答者のうち、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への出願資格がある人は224人(98.2%)で、受験資格がない人は4人(1.8%)である。

以降、回答者を現在「出願資格がある人」(224人)に絞って調査結果まとめを記載。

回答者の属性

- ・回答者の性別は「男性」が27.2%、「女性」が72.3%である。
- ・回答者の年齢は「40代」が33.5%で最も多く、次に「30代」が25.4%と続く。
- ・回答者の社会人経験年数は「3年未満」が12.1%、「3年以上」が87.9%である。
- ・回答者の最終学歴は「専門学校卒」が42.0%で最も多い。次に「大学卒」が37.1%と続く。
- ・回答者の勤務地は「青森県」が88.8%を占め、最も多い。次に「北海道」が5.4%と続く。
- ・回答者の勤務先は「地域包括支援センター」が26.8%で最も多い。次に「病院・医院」が23.7%、「介護老人福祉施設(特養)・介護老人保健施設」が22.3%、「訪問看護ステーション」が19.2%と続く。
- ・回答者の職種は「看護師」が39.3%で最も多い。次に「作業療法士」が12.1%、「介護福祉士」が10.7%と続く。

卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

大学院での学びに対する意向／学びたい学問分野

- 大学院で学んでみたいかどうかを聴取したところ、「大学院で学んでみたいと思う」と答えた回答者は34.4%で、3割半ばの回答者が仕事をしながらも大学院での学びに前向きな意向を示している。
- 回答者の学びたい学問分野を複数回答で聴取したところ、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の学びに関連のある「健康科学・リハビリテーション科学」の割合が44.2%で最も高い。次いで、「医療福祉工学(介護支援技術、福祉用具、バリアフリー等)」が29.9%、「看護学」が29.5%と続く。

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度(※)は、ともに8割を超える。
- より魅力度が高いのは、「B. 地域に暮らす人々の健康に関わる諸問題に対して、保健・医療・福祉に関連する高度な専門知識と技術をもって心身の健康の向上を支援できる専門職業人を育成します。」で92.4%である。
「A. 豊かな人間性とホスピタリティー精神をもって、多職種と協働して地域に暮らす人々を支える活動が実践できる専門職業人を育成します。」の魅力度は88.8%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向・入学意向

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた人は、29.0% (65人)である。
- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた65人のうち、「入学したいと思う」と回答した人は、75.4% (49人)である。

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向者数

ここからは、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対して、Q11で「受験してみたいと思う」と回答し、かつ、Q12で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は、21.9% (224人中、49人)。入学意向者数は予定している入学定員数5名を大きく上回っている。

卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた65人のうち、「入学したいと思う」と答えた49人に、入学希望時期を聞いたところ、「2024年4月の入学を希望する」と回答した人は22.4%(49人中、11人)である。また、「2025年4月の入学を希望する」と回答した人は、18.4%(49人中、9人)、「2026年4月以降の入学を希望する」と回答した人は、57.1%(49人中、28人)である。
- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」を「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた49人のうち、「大学院で学んでみたいと思う」と回答し、かつ、「看護学」または「健康科学・リハビリテーション科学」を学んでみたいと回答した人は18人である。この18人に入学希望時期を聞いたところ、「2024年4月の入学を希望する」と回答した人は、38.9%(18人中、7人)である。また、「2025年4月の入学を希望する」と回答した人は、11.1%(18人中、2人)、「2026年4月以降の入学を希望する」と回答した人は、50.0%(18人中、9人)である。なお、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」を「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人は49人であった。このうち、「大学院で学んでみたいと思う」と回答し、かつ、大学院で学んでみたい学問領域を具体的に回答した人は33人である。この33人に入学希望時期を聞いたところ、「2024年4月の入学を希望する」と回答した人は、30.3%(33人中、10人)である。また、「2025年4月の入学を希望する」と回答した人は、18.2%(33人中、6人)、「2026年4月以降の入学を希望する」と回答した人は、51.5%(33人中、17人)である。

卒業生・施設従事者対象 調査結果まとめ

さらに精緻な条件下での、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向者数

※ここからは、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対して、Q8で「大学院で学んでみたいと思う」と回答し、かつ、Q9で「看護学」または「健康科学・リハビリテーション科学」と回答した人の中で、Q11で「受験してみたいと思う」かつ、Q12で「入学したいと思う」と回答し、かつ、Q13で「2024年4月の入学を希望する」と回答した人を精緻な条件に合致する入学意向者と定義し、分析を行う。

回答者全体における精緻な条件に合致する入学意向は3.1%(224人中、7人)。

入学意向者数は予定している入学定員数5名を上回っている。

◇対象別

- ・「施設従事者」の入学意向は3.5%(200人中、7人)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇勤務地別

- ・「青森県」に勤務地がある回答者の入学意向は3.0%(199人中、6人)、次いで「北海道」エリアに勤務地がある回答者の入学意向が8.3%(12人中、1人)であり、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇職種別

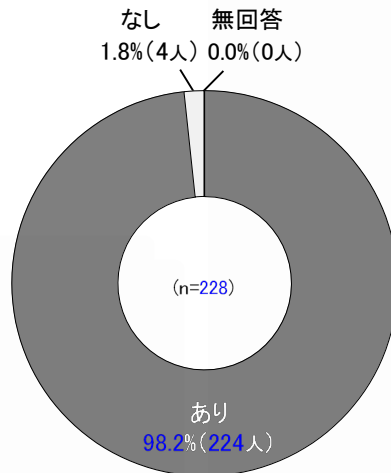
- ・職種が「看護師」である回答者の入学意向は3.4%(88人中、3人)、「作業療法士」の入学意向は11.1%(27人中、3人)、「介護福祉士」の入学意向は4.2%(24人中、1人)である。弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」に関連のある職種から、一定数の入学意向者がみられた。



卒業生・施設従事者対象 調査結果

出願資格の有無

■ 出願資格の有無



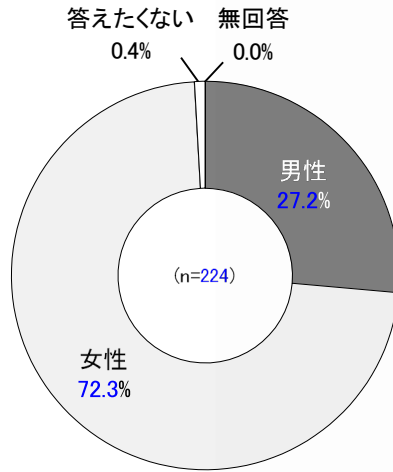
※弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」
の出願資格

大学を卒業したまたは卒業見込みの者、あるいは、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の実務経験(通算可)を有する者

回答者の属性(性別/年齢/社会人経験年数)

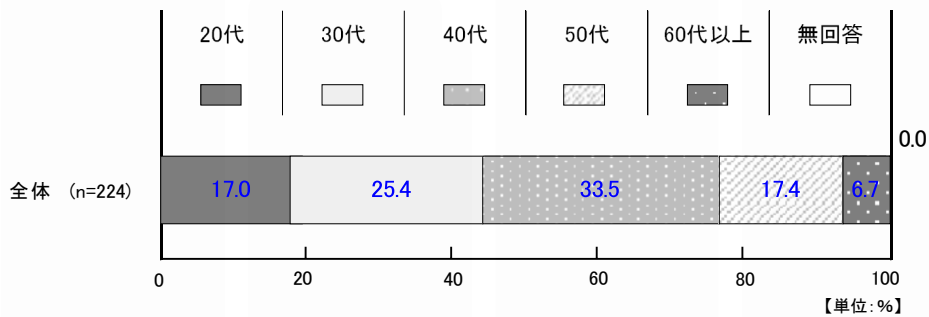
■性別

Q1. あなたの性別を教えてください。(1つだけ)



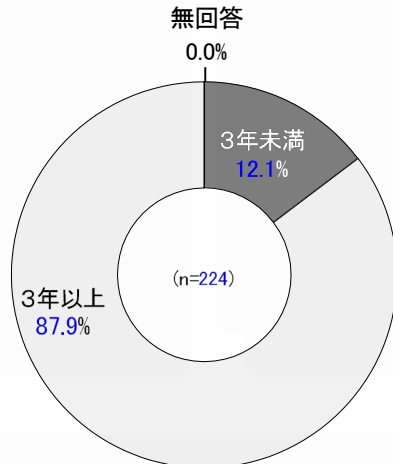
■年齢

Q2. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ)



■社会人経験年数

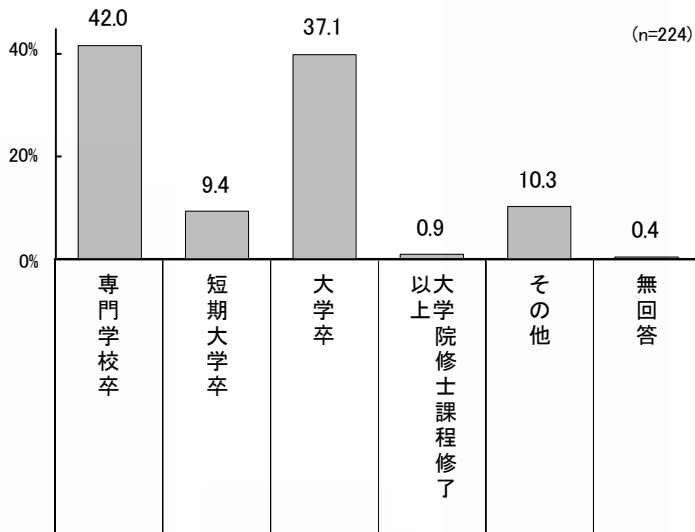
Q3. あなたの社会人経験の年数を教えてください。(1つだけ)※離職期間がある場合は、合算年数をお答えください。



回答者の属性(最終学歴/勤務地)

■最終学歴

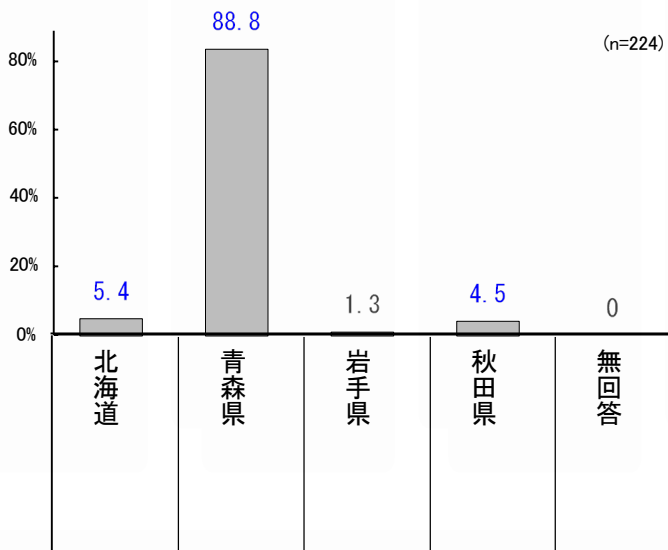
Q4. あなたの最終学歴を教えてください。(1つだけ)



※「専門学校卒」「短期大学卒」は施設従事者のみ聴取

■勤務地

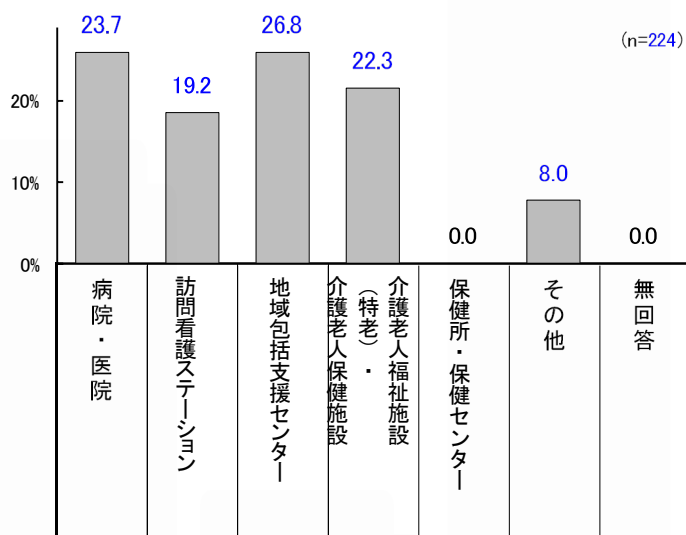
Q5. あなたの勤務地を教えてください。(都道府県名を記入)



回答者の属性(勤務先/職種)

■勤務先

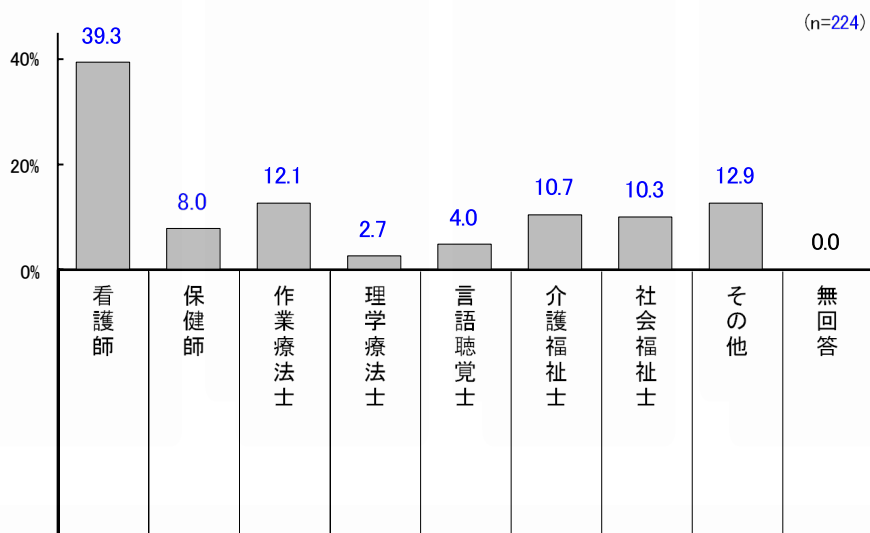
Q6. あなたの現在の勤務先を教えてください。(1つだけ)



※「保健所・保健センター」は卒業生のみ聴取

■職種

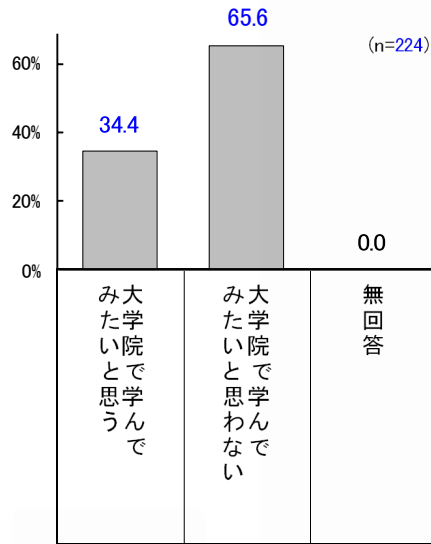
Q7. あなたの現在の職種を教えてください。(1つだけ)



大学院での学びに対する意向／学びたい学問分野

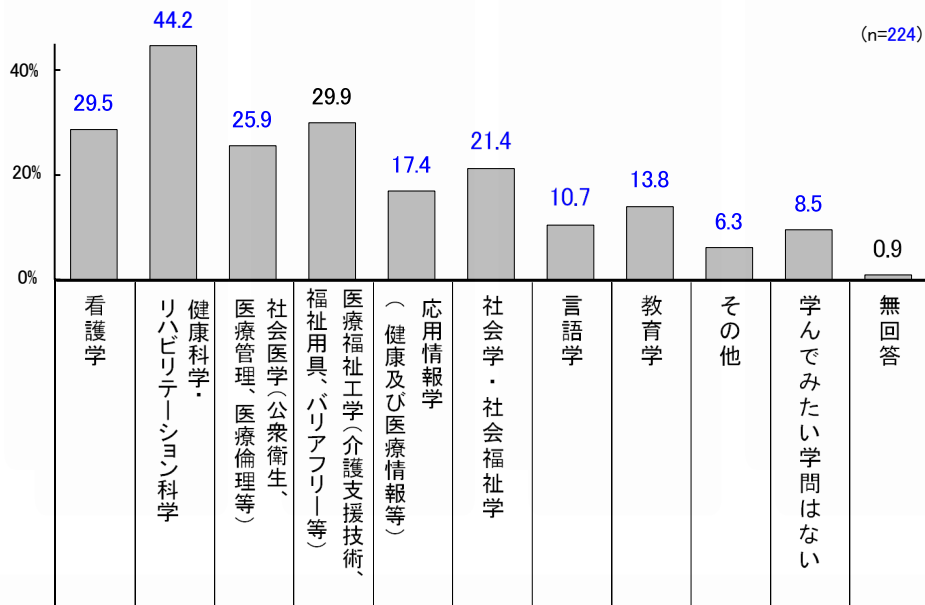
■ 大学院での学びに対する意向

Q8. あなたは専門知識の修得やスキルアップのために、大学院で学んでみたいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



■ 学びたい学問分野

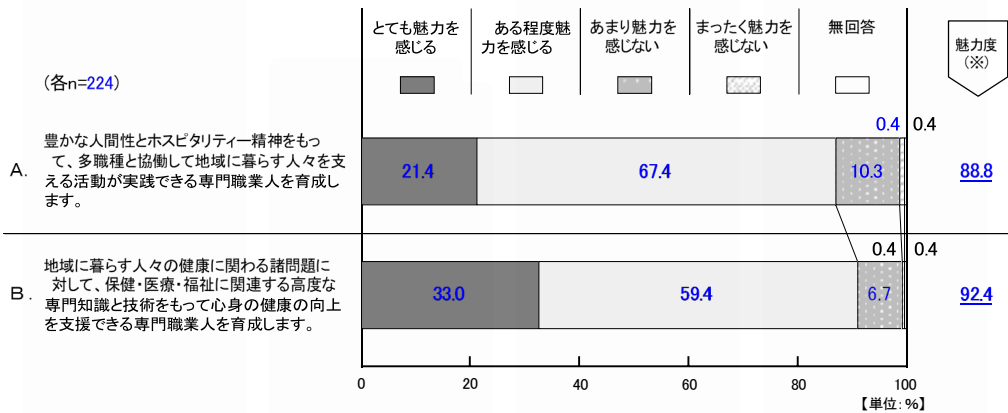
Q9. あなたが今後大学院で学んでみたい学問分野を、すべてお選びください。(いくつでも)
(大学院への進学を希望されていない方も、進学を希望する場合を想像してお答えください。)



弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

Q10.弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。あなたはそれぞれの程度魅力を感じますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。(それぞれ1つだけ)
(大学院への進学を希望されていない方も、進学を希望する場合を想像してお答えください。)



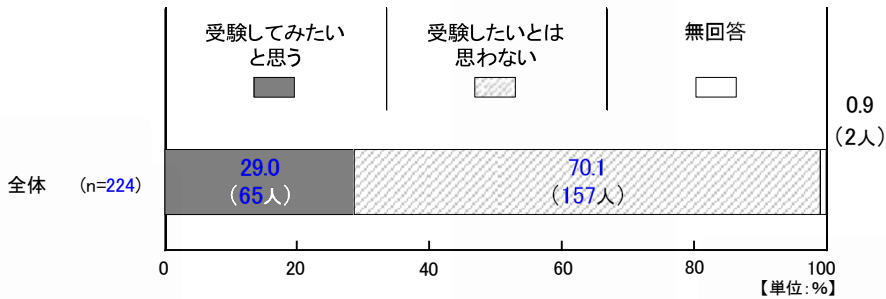
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向／入学意向

■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向

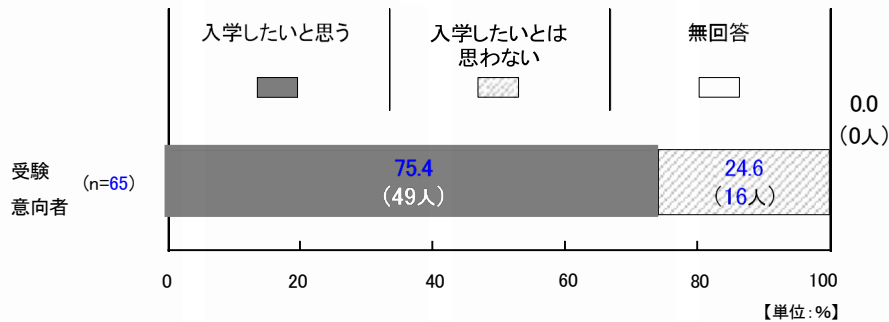
Q11. 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)では、社会人が学びやすいように、以下のように学びの環境を整備する予定です。あなたは、このような学びの環境やQ10のような特色をもつ弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)を、受験してみたいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



↓ 「受験してみたいと思う」と答えた65人のみ抽出

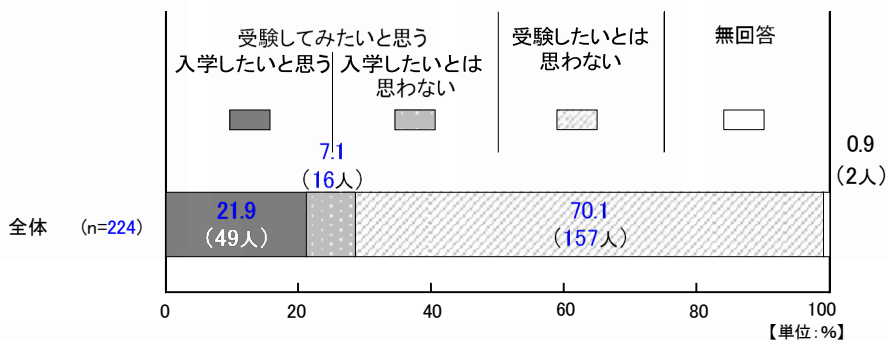
■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向

Q12. あなたが、もし弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



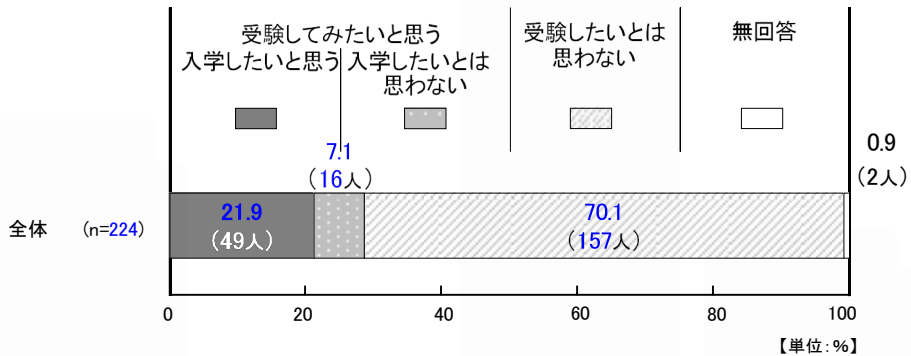
↓ 「受験意向(Q11)」と「入学意向(Q12)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向別入学意向



弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期

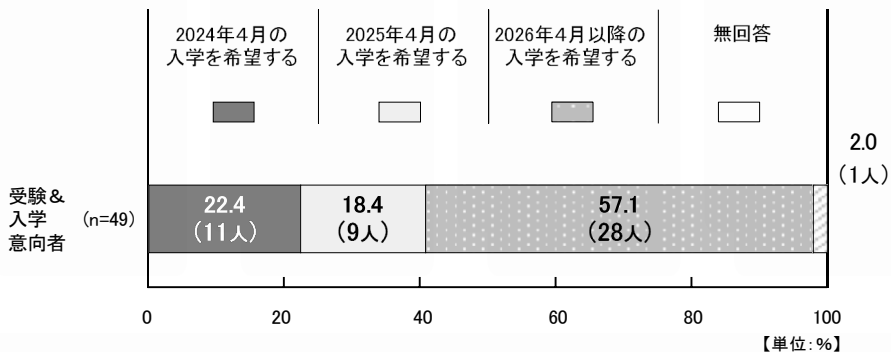
■ (再掲) 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への受験意向別入学意向



「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた49人のみ抽出

■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期

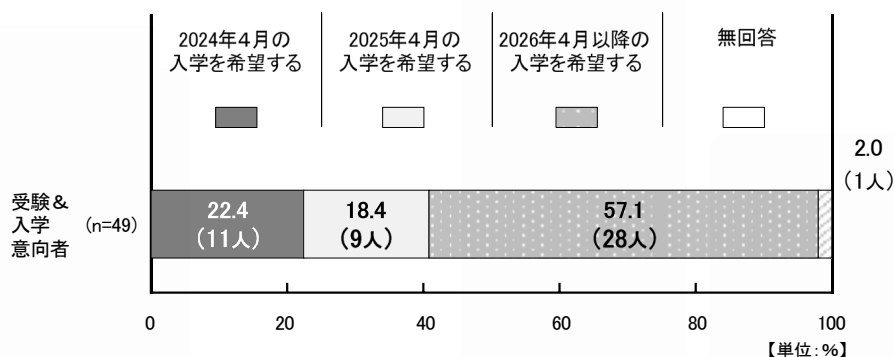
Q13.Q12で、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きします。
 あなたは、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期

■ (再掲) 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学希望時期

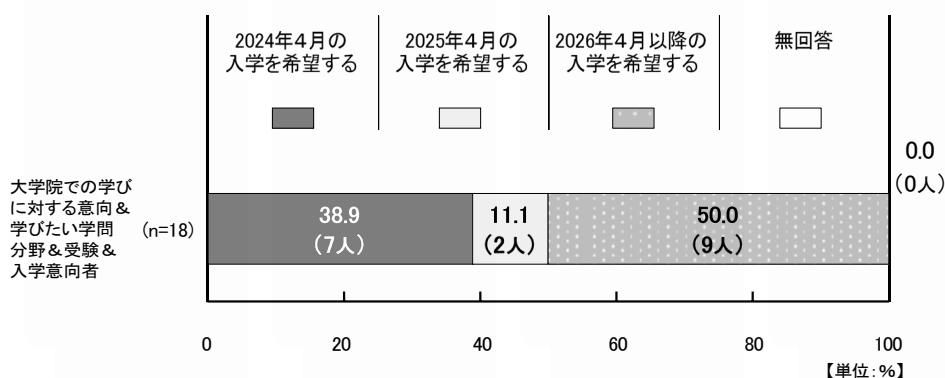
Q13.Q12で、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きします。
 あなたは、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。
 (1つだけ)



※受験 & 入学意向者 = 「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数



■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への精緻な条件に合致する入学意向者の入学希望時期 (大学院での学びに対する意向 × 学びたい学問分野 × 受験意向 × 入学意向)



※大学院での学びに対する意向 & 学びたい学問分野 & 受験 & 入学意向者 = 「大学院で学んでみたいと思う」かつ学びたい学問分野が「看護学」または「健康科学・リハビリテーション科学」かつ「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

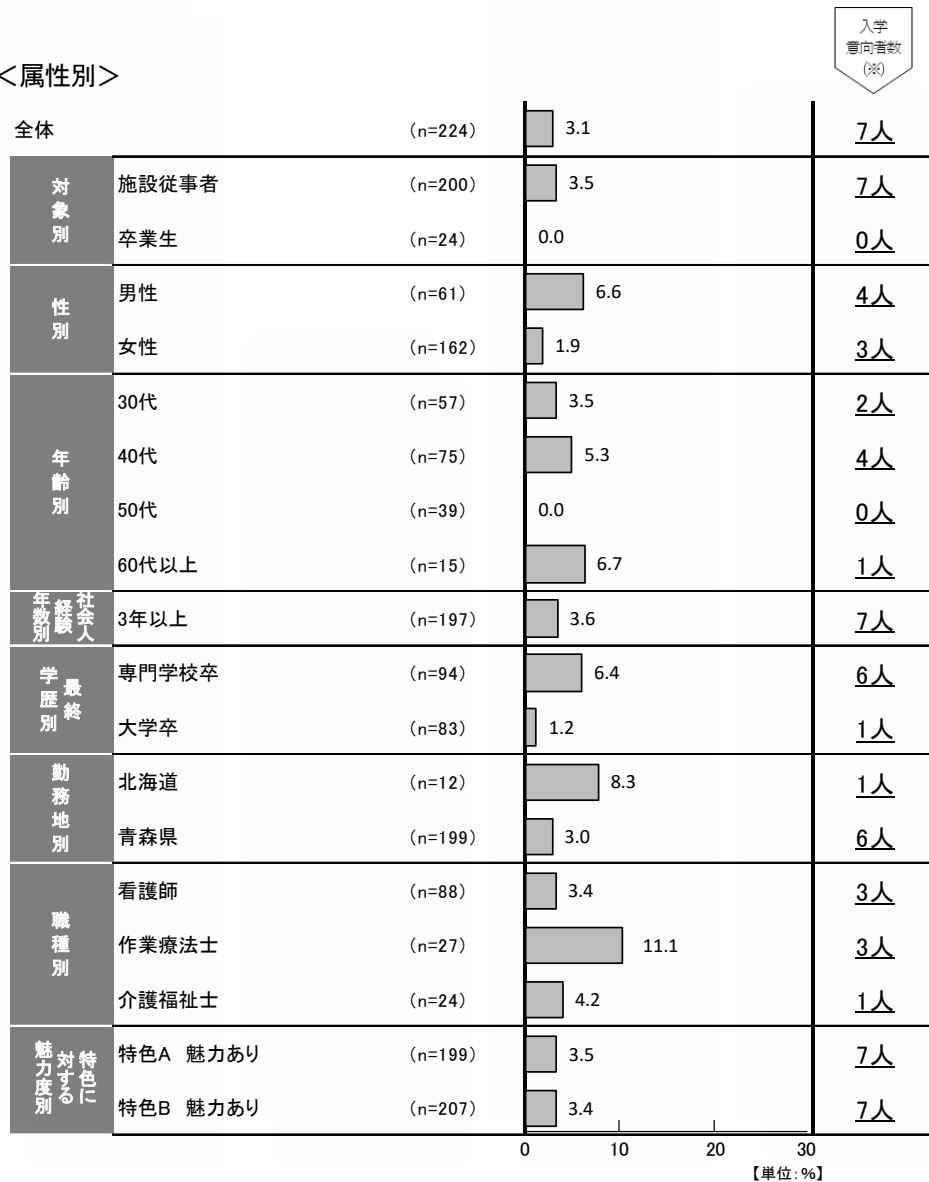
弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向者数<属性別>

■ 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への入学意向者数<属性別>

前述の入学意向者の条件をさらに精緻な条件に設定し、

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対して、Q8で「大学院で学びたいと思う」と回答し、かつ、Q9で「看護学」または「健康科学・リハビリテーション科学」と回答した人の中で、Q11で「受験してみたいと思う」かつ、Q12で「入学したいと思う」と回答し、かつ、Q13で「2024年4月の入学を希望する」と回答した人を精緻な条件に合致する入学意向者と定義し、分析を行う。

<属性別>



※入学意向者数=「大学院で学びたいと思う」かつ「看護学」または「健康科学・リハビリテーション科学」を学びたいと回答し、「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」かつ「2024年4月の入学を希望する」と回答した人の人数



卷末資料 調査票

調査票

はじめに、あなたご自身について教えてください。

Q1. あなたの性別を教えてください。(1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

Q2. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

Q3. あなたの社会人経験の年数を教えてください。(1つだけ)

※離職期間がある場合は、合算年数をお答えください。

1. 3年未満 2. 3年以上

Q4. あなたの最終学歴を教えてください。(1つだけ)

1. 専門学校卒 2. 短期大学卒 3. 大学卒
4. 大学院修士課程修了以上 5. その他

Q5. あなたの勤務地を教えてください。(都道府県名を記入)

都・道・府・県

Q6. あなたの現在の勤務先を教えてください。(1つだけ)

1. 病院・医院 2. 訪問看護ステーション 3. 地域包括支援センター
4. 介護老人福祉施設(特養)・介護老人保健施設 5. その他

Q7. あなたの現在の職種を教えてください。(1つだけ)

1. 看護師 2. 保健師 3. 作業療法士 4. 理学療法士
5. 言語聴覚士 6. 介護福祉士 7. 社会福祉士 8. その他

Q8. あなたは専門知識の修得やスキルアップのために、大学院で学んでみたいと思いますか。

あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

1. 大学院で学んでみたいと思う 2. 大学院で学んでみたいと思わない

Q9. あなたが今後大学院で学んでみたい学問分野を、すべてお選びください。(いくつでも)

(大学院への進学を希望されていない方も、進学を希望する場合を想像してお答えください。)

1. 看護学 2. 健康科学・リハビリテーション科学
3. 社会医学(公衆衛生、医療管理、医療倫理等) 4. 医療福祉工学(介護支援技術、福祉用具、バリアフリー等)
5. 応用情報学(健康及び医療情報等) 6. 社会学・社会福祉学
7. 言語学 8. 教育学
9. その他 10. 学んでみたい学問はない

調査票

弘前医療福祉大学大学院 「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)の 設置計画の概要

(注) 概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。

1. 名称 弘前医療福祉大学大学院 地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(仮称、設置構想中)

2. 開設予定時期 2024(令和6)年4月

3. 設置の理念、養成する人物像

地域健康支援学は、地域で生活する人々を全人的にとらえ、人々や地域の健康課題を探求しながら、保健・医療・福祉への向上に寄与する学問領域です。本研究科では、ホスピタリティー精神を基盤とし、地域健康支援学に関わる教育と研究を通して、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を地域に還元し、地域の人々とともに、人間の健康と福祉の向上に寄与できる人材育成を目的としております。

4. 修了後に想定される主な進路

- ① 医療・保健・福祉領域の発展に寄与する研究の推進者
- ② 医療提供施設の専門職としてのキャリアアップ
- ③ 訪問看護ステーション等の事業所の管理者・教育者
- ④ 地域包括支援センターの専門職としてのキャリアアップ
- ⑤ 医療・保健・福祉領域の施設の管理職への昇進
- ⑥ 医療・保健・福祉領域の専門職養成施設(大学等)の教員

5. 研究科の特徴

本研究科は、看護学、リハビリテーション科学等を融合した学問体系を基盤とし、多職種と協働して健康を支援できる人材育成を目的としております。本学は、看護師・保健師やリハビリテーション専門職を養成する保健学部と、救急救命士、歯科衛生士、介護福祉士を養成する短期大学部を有しており、附置している在宅ケア研究所ならびに附属訪問リハビリステーション、地域安全防災研究所も含めた連携により、専門職の協働による効果的な健康支援の実践を探究することができます。また、ZOOM等を活用した遠隔授業、昼・夜間開講授業、土曜開講授業に加えて、修業年限を超えて履修が可能な長期履修制度を設け、社会人が働きながら学べるよう環境を整えております。

6. 学位の名称 修士(地域健康支援学)

7. 設置場所 〒036-8102 青森県弘前市小比内3丁目18-1
JR弘前駅から弘南鉄道弘南線二つめの駅「運動公園前」下車徒歩3分
弘南バス:城東-安原線「弘前駅城東口」から「医療福祉大学前」下車で徒歩3分

8. 入学定員 5名

9. 学生納付金 入学金125,000円(初年次のみ)、授業料555,000円
※ 弘前城東学園が設置している大学等の卒業生は入学金免除制度あり

10. 類似の他大学大学院研究科・専攻

弘前大学大学院保健学研究科、青森県立保健大学大学院健康科学研究科

弘前医療福祉大学大学院
「地域健康支援学研究科
地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【施設対象調査】

施設対象 調査概要

1. 調査目的

2024年4月開設予定の弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)の新設構想に関して、施設のニーズを把握する。

2. 調査概要

		施設対象調査
調査対象		施設の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、岩手県、秋田県
調査方法		郵送・Web調査
調査対象数	依頼数	222施設
	回収数(回収率)	51施設(23.0%)
調査時期		2022年8月16日(火)～2022年9月9日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

施設対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・所在地・業種・従業員数・正規職員・社員の平均採用人数・採用したい専門知識・技術保有者・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の社会的必要性・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生に対する採用意向・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生の毎年の採用想定人数・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への進学推奨度

施設対象 調査結果まとめ



施設対象 調査結果まとめ

回答施設(回答者)の属性

※本調査は、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対する人材需要を確認するための調査として設計。弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の卒業生就職先として想定される施設の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、51施設から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は29.4%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が43.1%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答施設の所在地は、「青森県」が88.2%を占め、最も多い。次いで「北海道」が5.9%、「秋田県」が3.9%である。
- 回答施設の業種としては「介護老人福祉施設(特養)・介護老人保健施設」が33.3%で最も多い。次いで「訪問看護ステーション」が25.5%である。
- 回答施設の従業員数(正規職員・社員)は、「10名未満」「100名～500名未満」がともに29.4%で最も多い。次いで「50名～100名未満」が25.5%である。

回答施設の採用状況(過去3か年)／ 採用したい専門知識・技術保有者

- 回答施設の平均的な正規職員・社員の採用人数は、「1名～5名未満」が43.1%で最も多い。次いで「5名～10名未満」が21.6%、「10名～20名未満」「30名～50名未満」がともに9.8%である。毎年、正規職員・社員を採用している施設がほとんどである。
- 回答施設の採用したい専門知識や技術保有者を複数回答で聴取したところ、「住み慣れた地域で生活するための健康課題・問題に関する知識と技術をもつ人材」の割合が74.5%で最も高い。次いで「住み慣れた地域で健康に暮らすために専門的な見地から支援できる高度な実践力をもつ人材」が72.5%、「地域生活の健康支援に関わる指導的役割を担う人材」が45.1%と続く。

施設対象 調査結果まとめ

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度(※)は、ともに9割を超える。
 - より魅力度が高いのは、「B. 地域に暮らす人々の健康に関わる諸問題に対して、保健・医療・福祉に関連する高度な専門知識と技術をもって心身の健康の向上を支援できる専門職業人を育成します。」の98.0%である。
- 「A. 豊かな人間性とホスピタリティー精神をもって、多職種と協働して地域に暮らす人々を支える活動が実践できる専門職業人を育成します。」の魅力度は96.1%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した施設の合計値

施設対象 調査結果まとめ

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の社会的必要性

- ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の社会的必要性については、94.1%(51施設中、**48施設**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの施設からこれからの社会にとって必要な研究科・専攻であると評価されていることがうかがえる。

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生を「採用したいと思う」と答えた施設は、78.4%(51施設中、**40施設**)である。
- ・弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた40施設へ弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**48名**で、予定している入学定員数5名を大きく上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- ・「北海道・東北」エリアに所在する施設からの採用意向は、78.4%(51施設中、**40施設**)。採用想定人数の合計は**48名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。「青森県」に所在する施設からの採用意向は、77.8%(45施設中、**35施設**)。採用想定人数の合計は**43名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

施設対象 調査結果まとめ

◇業種別

- 業種が「訪問看護ステーション」である施設からの採用意向は、69.2%（13施設中、**9施設**）。採用想定人数の合計は**9名**で、予定している入学定員数を上回っている。「介護老人福祉施設（特養）・介護老人保健施設」からの採用意向は、88.2%（17施設中、**15施設**）。採用想定人数の合計は**25名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇社会的必要性別

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻（修士課程）」が社会的に「必要だと思う」と回答した施設からの採用意向は83.3%（48施設中、**40施設**）。採用想定人数の合計は**48名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇進学推奨度別

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻（修士課程）」を「勧めたい（とても勧めたいと思う＋まあ勧めたいと思う）」と回答した施設からの採用意向は83.7%（43施設中、**36施設**）。採用想定人数の合計は**44名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

施設対象 調査結果まとめ

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への進学推奨度

- 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究科 地域健康支援学専攻(修士課程)」への進学推奨度(※)は84.3%である。

※推奨度＝「とても勧めたいと思う」「まあ勧めたいと思う」と回答した施設の合計値

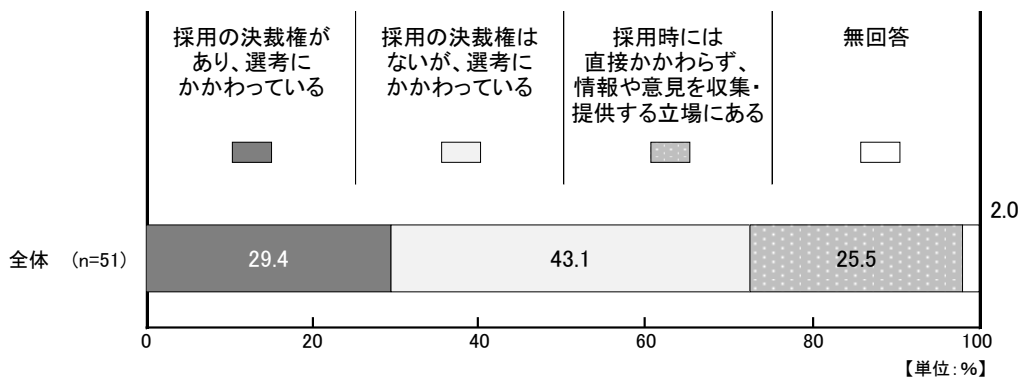
施設対象 調査結果



回答施設(回答者)の属性(人事採用への関与度/所在地)

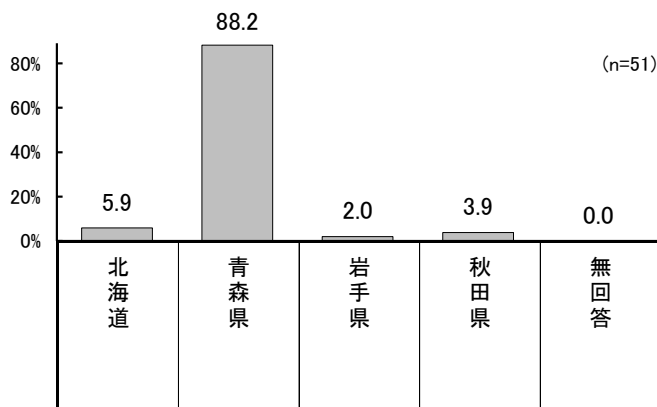
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■所在地

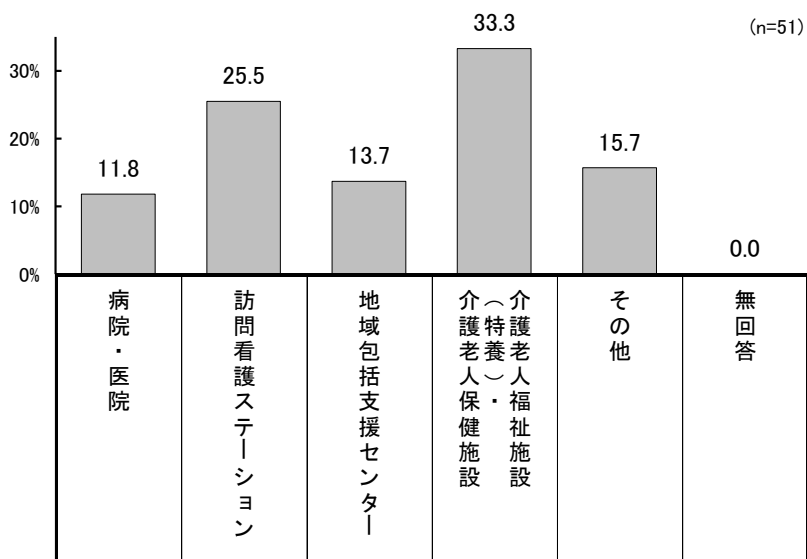
Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答施設(回答者)の属性(業種/従業員数)

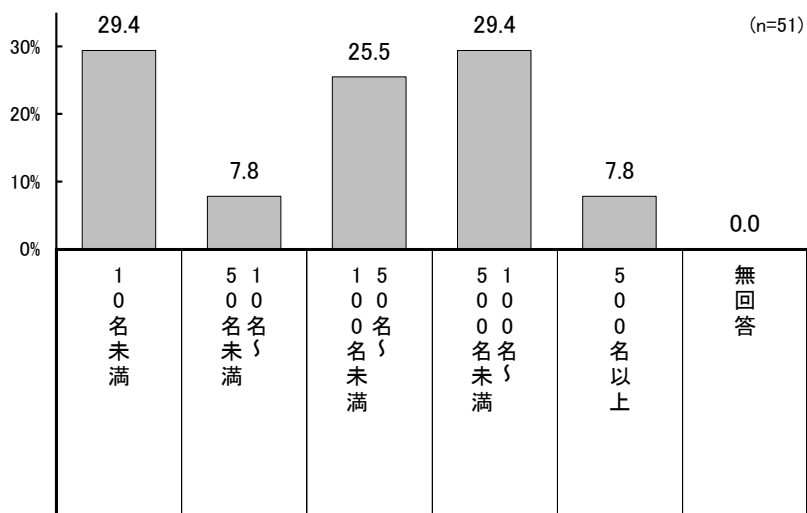
■業種

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

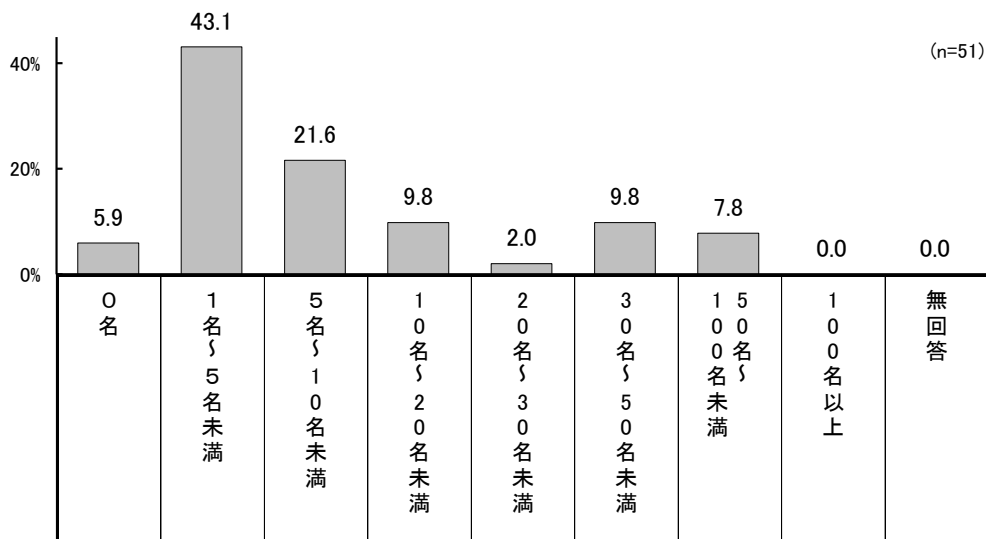
Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規職員・社員の平均採用人数／ 採用したい専門知識・技術保有者

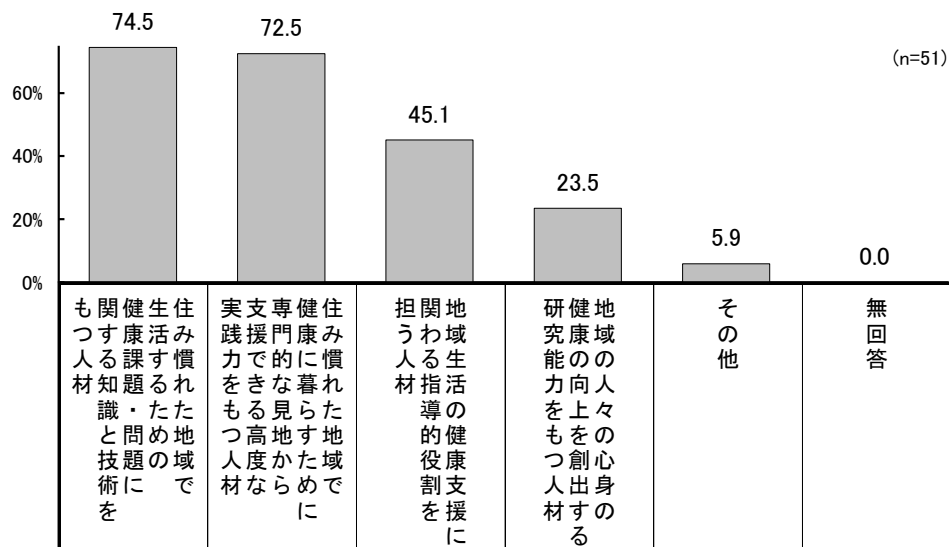
■正規職員・社員の平均採用人数

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■採用したい専門知識・技術保有者

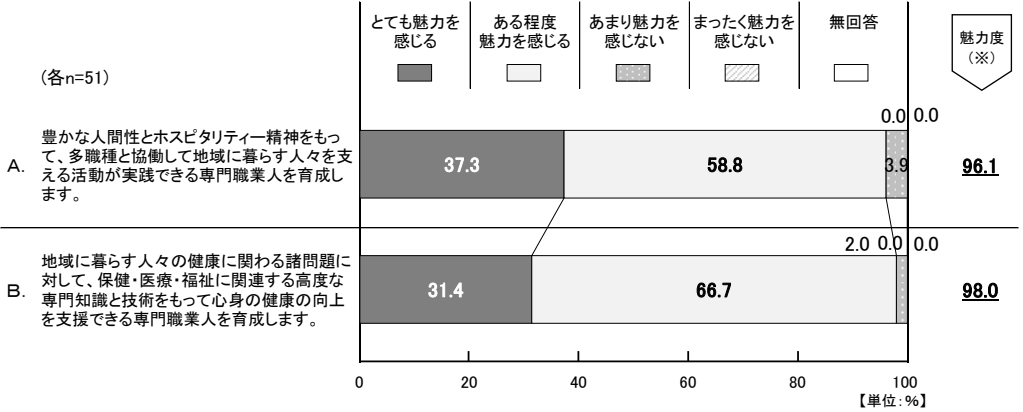
Q6. 貴院・貴団体では、以下のどのような専門知識や技術をもつ人材を採用したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)



弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

Q7. 弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)には、以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、それぞれの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



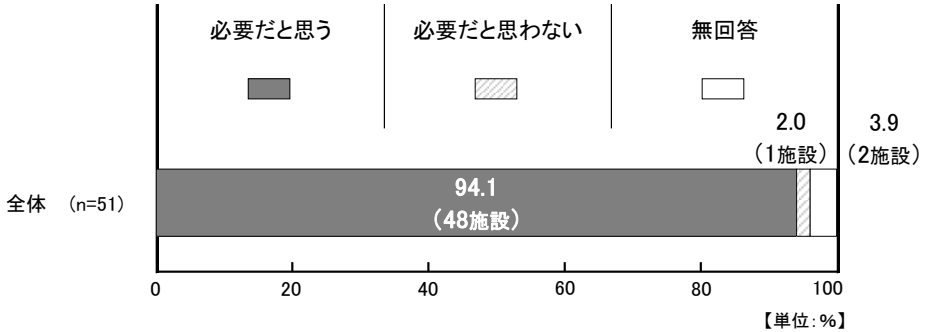
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

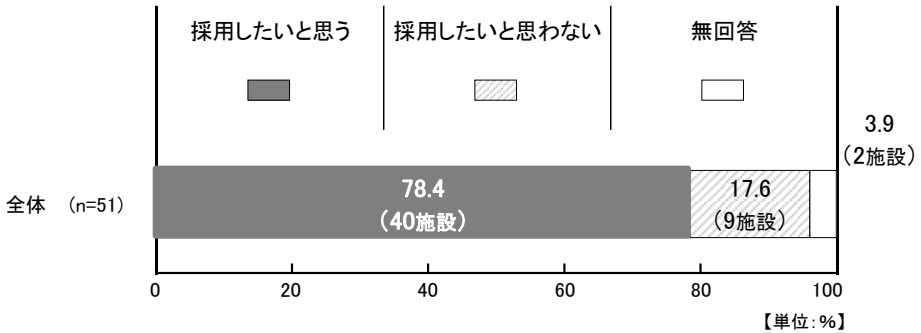
■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」の社会的必要性

Q8. 貴院・貴団体（ご回答者）は、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号1つに○）



■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴院・貴団体（ご回答者）は、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）



「採用したいと思う」と答えた40施設のみ抽出

■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5 5 9名	10名以上	計	
		%	%	%	%	%	%		
全体	40	%	85.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	⇒ 38 48
		施設数	34	2	0	0	2	0	
		名	34	4	0	0	10	0	

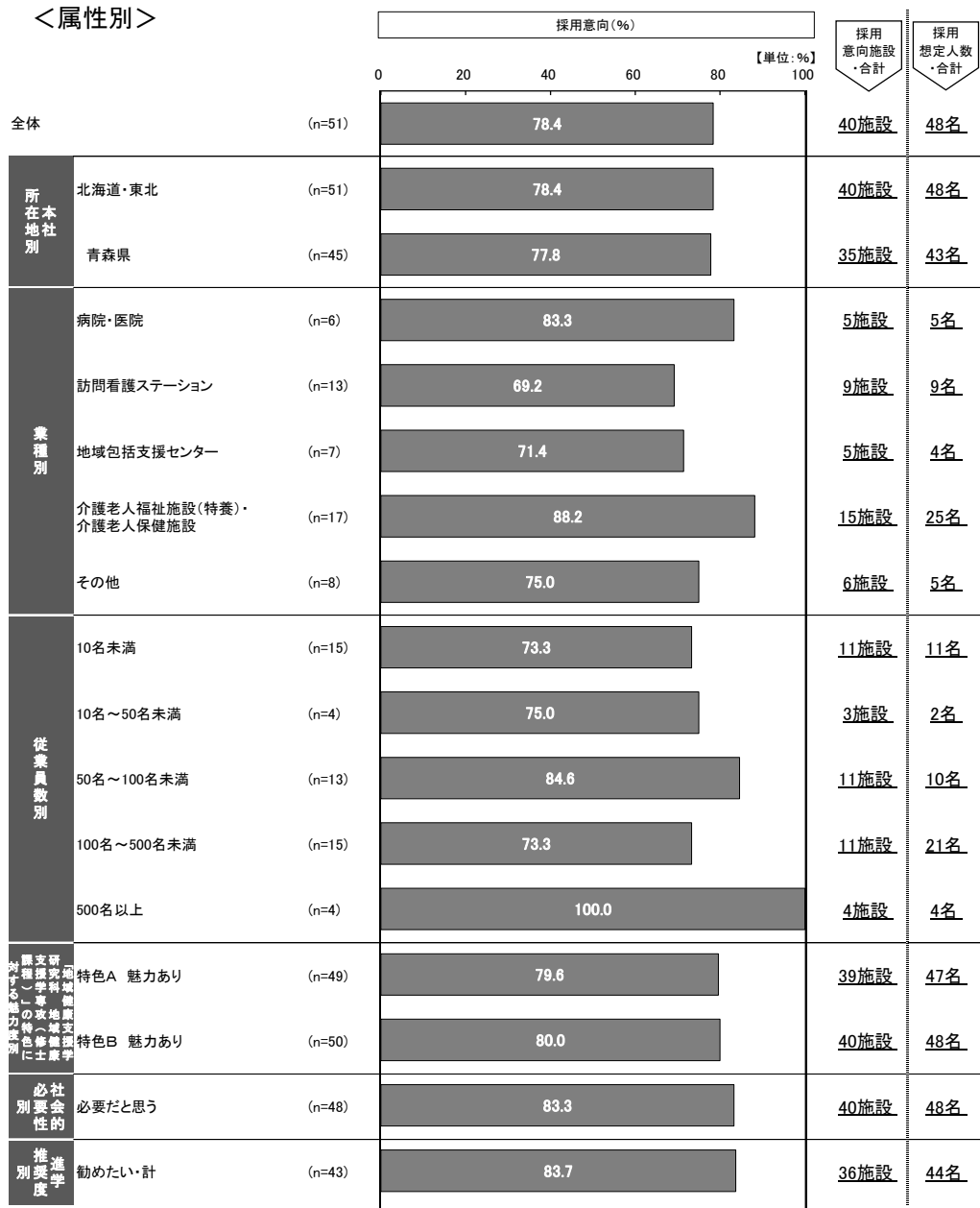
※ 毎年の採用想定人数・計 「5～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻 地域健康支援学専攻(修士課程)」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学専攻 地域健康支援学専攻(修士課程)」に対して、Q9で「採用したいと思う」と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q10で回答した施設が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

<属性別>

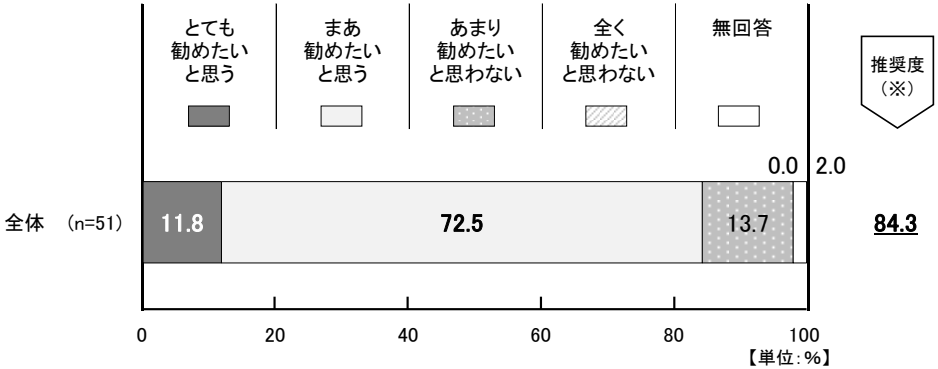


※ 採用想定人数・合計 「5～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への進学推奨度

■弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」への進学推奨度

Q11. すべての方におたずねします。弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)では、社会人が学びやすい環境を提供するため、以下のような環境を整えています。ご回答者ご自身は、貴院・貴団体の看護職・リハビリ職・福祉職等に従事される方に、弘前医療福祉大学大学院「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)への進学を、どの程度勧めたいと思いますか。



※推奨度=「とても勧めたいと思う」「まあ勧めたいと思う」と回答した人の合計値

※推奨度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても勧めたいと思う」と「まあ勧めたいと思う」の合計値と必ずしも一致しない

卷末資料 調查票



調査票

はじめに、貴院・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。

所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 病院・医院
2. 訪問看護ステーション
3. 地域包括支援センター
4. 介護老人福祉施設（特養）・介護老人保健施設
5. その他

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 10名未満
2. 10名～50名未満
3. 50名～100名未満
4. 100名～500名未満
5. 500名以上

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 0名
2. 1名～5名未満
3. 5名～10名未満
4. 10名～20名未満
5. 20名～30名未満
6. 30名～50名未満
7. 50名～100名未満
8. 100名以上

Q6. 貴院・貴団体では、以下のような専門知識や技術をもつ人材を採用したいと思いませんか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 住み慣れた地域で生活するための健康課題・問題に関する知識と技術をもつ人材
2. 住み慣れた地域で健康に暮らすために専門的な見地から支援できる高度な実践力をもつ人材
3. 地域生活の健康支援に関わる指導的役割を担う人材
4. 地域の人々の心身の健康の向上を創出する研究能力をもつ人材
5. その他

弘前医療福祉大学大学院 「地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(修士課程)」(仮称)の 設置計画の概要

(注)概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。

1. 名称 弘前医療福祉大学大学院 地域健康支援学研究所 地域健康支援学専攻(仮称、設置構想中)

2. 開設予定時期 2024(令和6)年4月

3. 設置の理念、養成する人物像

地域健康支援学は、地域で生活する人々を全人的にとらえ、人々や地域の健康課題を探求しながら、保健・医療・福祉への向上に寄与する学問領域です。本研究科では、ホスピタリティー精神を基盤とし、地域健康支援学に関わる教育と研究を通して、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を地域に還元し、地域の人々とともに、人間の健康と福祉の向上に寄与できる人材育成を目的としております。

4. 修了後に想定される主な進路

- ①医療・保健・福祉領域の発展に寄与する研究の推進者
- ②医療提供施設の専門職としてのキャリアアップ
- ③訪問看護ステーション等の事業所の管理者・教育者
- ④地域包括支援センターの専門職としてのキャリアアップ
- ⑤医療・保健・福祉領域の施設の管理職への昇進
- ⑥医療・保健・福祉領域の専門職養成施設(大学等)の教員

5. 研究科の特徴

本研究科は、看護学、リハビリテーション科学等を融合した学問体系を基盤とし、多職種と協働して健康を支援できる人材育成を目的としております。本学は、看護師・保健師やリハビリテーション専門職を養成する保健学部と、救急救命士、歯科衛生士、介護福祉士を養成する短期大学部を有しており、附置している在宅ケア研究所ならびに附属訪問リハビリテーション、地域安全防災研究所も含めた連携により、専門職の協働による効果的な健康支援の実践を探究することができます。また、ZOOM等を活用した遠隔授業、昼・夜間開講授業、土曜開講授業に加えて、修業年限を超えて履修が可能な長期履修制度を設け、社会人が働きながら学べるよう環境を整えております。

6. 学位の名称 修士(地域健康支援学)

7. 設置場所 〒036-8102 青森県弘前市小比内3丁目18-1
JR弘前駅から弘南鉄道弘南線二つめの駅「運動公園前」下車徒歩3分
弘南バス:城東-安原線「弘前駅城東口」から「医療福祉大学前」下車で徒歩3分

8. 入学定員 5名

9. 学生納付金 入学金125,000円(初年次のみ)、授業料555,000円
※ 弘前城東学園が設置している大学等の卒業生は入学金免除制度あり

10. 類似の他大学大学院研究科・専攻

弘前大学大学院保健学研究科、青森県立保健大学大学院健康科学研究科